



梅雨に入り、うっとうしい雨が続きますが、その雨も作物の成長にとっては欠かすことのできない大切なものです。七夕の天気予報はくもり。今年のたんざくには何をお願いしましょうか。

オリンピックやワクチン接種などをめぐり一連の報道を見ていると、見過ごすことのできない、重たい問題をはらんでいると感じます。学校あてに斡旋される「(オリパラ)学校連携観戦チケット」についても、さまざまな声が上がっています。私たち『川口ぞうれっしゃ』がずっと大切にしてきた「いのちと平和と子どもたち」とは…。コロナ禍でのオリンピックが始まろうとしている今、改めて考えさせられる毎日です。

はあ～っとため息をつきたくなりますね。でも私たちは決して諦めることなく、みんなが安心して『ぞうれっしゃ』に乗りこみ走りだせる日が来るまで、絆のレールをひとつひとつ繋ぎながら、ゆっくり進んで行きますよー！

ぞうとのご縁

ジャパトラ座語り方 本庄 康代

こんにちは。日本のお話を^{コト}箏と語りと映像の三位一体表現で聞かせる見せる『ジャパトラ座』で語りを担当している、本庄康代と申します。

わたしとぞうとの出会い…。それは我々の活動を見つけてくださったぞう関係の方が、スタッフの皆さんと「こんなユニットがあるよ」と、情報共有を下さったコトから始まりました。

それから、わたしたちの演奏会を数名で観に来て下さって、初めてお話しをさせて戴いたときの皆さんの明るさ・エネルギッシュさを、今でもよく覚えています。



その後、とんとん拍子に決まった『ぞうれっしゃとジャパトラ座』のコラボレーション@川口リリア大ホール。あの二千人規模の会場が、ぞうの熱い歌声でいっぱい包まれたときに「なんて素晴らしい合唱団なんだろう！」と心が震えたコトも、まだまだ記憶に新しいところ。

世代を超えた、そして職業もキャリアも全く関係ない世界… 唯一の共通点は「歌がスキ！ぞうがスキ！」。このエネルギーの塊のような集団をみんなで作り上げてらっしゃるコトに、団員の皆さんひとりひとりとそして運営に携わるスタッフの皆さんに、心からの敬意を表します。

そしてそれは大きなコトだけではなく、小さなコトの積み重ねから。

去年の話ですが、コロナ禍、開催が危ぶまれたジャパトラ座の箏奏者、中井智弥のソロリサイタル@銀座ヤマハホールに於いてもあの状況下、数名のぞう関係の方々にご高覧賜り、どれほど救われたコトか！！

会の終わりには、一番末席に座っていたわたしに、お声を掛けて慰労下さるなど、細やかな御配慮が素晴らしいコトでした。

このような方々に支えられたぞうれっしゃのみなさんの歌声が、いつかまた安寧を取り戻した世の中に明るく響き渡るコトを心の底から願っています。

一日も早くそんな穏やかな日々が戻ってきますように。

それまで団員の皆さんひとりひとりが「持ち前のぞう精神」で、周りにいい波動を送って、明るく元気に過ごしてまいりましょう。

このたびはこのような機会を賜り、ありがとうございました。

